

代理店 Interview

代理店インタビュー

富士急トラベル株式会社
(山梨県富士吉田市)



松村社長



山梨本社保険事業部の皆さま



片平執行役員

2019年度新たに特級代理店に認定された、富士急トラベル株式会社の松村社長に
日頃の取組みや今後のビジョンについて伺いました！

Q1 御社について教えてください。

私たち富士急グループは「富士を世界に拓く」という創業精神のもと、お客さまに「夢・喜び・やすらぎ・快適・感動」を常に提供するアメニティビジネスのリーディングカンパニーを目指しています。その中で、富士急トラベルは、地域に根ざした旅行会社として、旅行事業・保険事業・広告事業・受託事業に取組み、歴史を刻んでまいりました。

富士急トラベルは、1954年10月13日、富士急行株式会社を中核とするグループ会社のひとつとして、誕生しました。来年は創立65周年をおかげさまで迎えることになります。今後も更なる進化を図りながら、安全で快適な思い出づくりのお手伝いが出来ますよう、社員一同邁進してまいります。

Q2 特級代理店に認定された率直な感想を教えてください。

特級代理店となり、一層お客さまにとって良い提案をしていかなければならないという使命を感じ

ています。営業メンバーと営業サポートメンバーが一体となって代理店のレベルアップに取り組んでまいります。

Q3 貴代理店の強みは何ですか。

私たち富士急グループは富士急行を中心とし、関係会社は37社で構成されており、所在地は東京都、山梨県、静岡県、神奈川県、福島県等と広域にわたっています。また事業分野も運輸、観光、流通・サービス、不動産、土木・建築、情報、農業と多岐にわたっています。企業向けの損害保険はその業種に応じて様々な商品がありますが、これらの商品を提案できる機会が多くあるということが私たちの強みです。このことはグループ会社の一員として、グループ全体の成長発展のために貢献していると思っています。

Q4 現在の課題は何ですか。

現在、保険事業部は東京に1名、山梨に5名の計6名体制で、このうち営業メンバーは3名体制とな

「富士急トラベル株式会社」

1954年：富士急行株式会社の旅客誘致部門として旅行業を開始

1962年：富士急トラベル株式会社に商号変更、富士急行興業株式会社と合併し、損害保険代理業を開始

1973年：生命保険代理店業を開始

っております。3名という少人数で、多くのグループ会社やその関係先への新規提案をいかに効率的に行っていくかが課題です。また、旅行事業部には多くの損保資格保有者(募集人)がいますが特級代理店として高いクオリティを維持すべく、全ての募集人が均一で最適な提案を行えるよう教育を徹底していくことも今後の課題であると感じています。

Q5 新しく始めた取組みや今後のビジョンを教えてください。

ここ数年多発している大型台風等の自然災害により、補償内容が十分であるかのチェックや補償の提案がより一層必要になってきていると考えています。改めて各関係先法人に自然災害リスクに備える補償を提案する取組みを行っています。また、富士急グループ従業員の福利厚生制度の一環として、がん保険・医療保険の加入促進を行っています。顧客のリスクチェックを行い、ニーズに合った商品提案を繰り返し、代理店としての質を高めていきたいと思っています。

Q6 全国の代理店に向けて一言お願いします。

今年度4月より共栄火災が当社の代申会社となりました。共栄プロクラブにも入会し、特級代理店の認定も受け、11月に特級代理店セミナーに参加をさせていただきました。特級代理店セミナーに実際参加してみて印象的だったことは、共栄火災と代理店の距離の近さや共栄火災のファンの多さです。ロイヤル特級代理店および特級代理店の皆さまと交流を通じて、「つながり」を大切にする取組み姿勢や共栄火災らしさに私自身も非常に好感を持つことができました。

これからは各方面の共栄火災代理店の皆さまとお会いする機会があるかと思います。私どもも代理店の皆さま、共栄火災との「つながり」を大切にし、日々精進してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。